柴田地区合同秋の交通安全県民総ぐるみ運動出発式



9 月 18 日、えずこホールにて柴田地区合同秋の交通安全県民総ぐるみ運動出発式が行われ、大河原町交通安全母の会をはじめ、柴田地区交通安全関係者約 110 名が参加しました。

今回は、大河原産業高等学校ギター部部長 高橋　咲子さんが 1 日警察署長に委嘱され、交通安全誓いの言葉と出動申告を行いました。

その後、参加者は県道交差点や商業施設で啓発活動を行い、交通安全を呼びかけました。

大河原南小学校自転車交通安全チャレンジ



9 月 25 日、大河原南小学校の4・6年生を対象とした「大河原南小学校自転車交通安全チャレンジ」が開催されました。

今回は、MTBプロライダーの井手川　直樹さんと大河原警察署大河原駅前交番所長　小野　竜太さんを講師に迎え、自転車の乗り方や交通ルールについて学習しました。

参加したこどもたちは、講師の指導を受けながら真剣に取り組み、交通安全の知識や自転車の運転技術を着実に身につけていきました。

町制施行 70 周年記念 元プロ野球選手による野球教室



9 月 26 日、大河原公園多目的広場にて野球スポーツ少年団のチームを対象に東北楽天ゴールデンイーグルス元選手　銀次さんと岡島豪郎さんによる野球教室を開催しました。

野球教室には、73 名のこどもたちが参加し、たくさんの質問をしながらプロの技術や知識を取り入れようと練習に励んでいました。

銀次さんと岡島さんからは「今日教えたみんなが将来のプロ野球で活躍してほしい」と激励の言葉をいただきました。

こどもたちは、普段は経験できない充実した時間を過ごしていました。

町制施行 70 周年記念 オリジナルフレーム切手贈呈式



9 月 28 日、日本郵便株式会社 (大河原郵便局、桜町郵便局、幸町郵便局、金ケ瀬郵便局) から町へ『町制施行 70 周年記念フレーム切手』を贈呈いただきました。

旧大河原町と金ケ瀬村の合併時の写真や尾形橋開通時の写真などが採用され、大河原町の 70 年を振り返るデザインとなっています。

この記念切手シートは町内郵便局で販売されております。

※すでに完売している可能性がございますのでご了承ください。

11 月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間」です

189（いちはやく）　気づいたあなたに　できること

令和８年度オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン標語

こども家庭庁では、毎年 11 月を『オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン』月間と定めています。

児童虐待に関する相談対応件数は、年々増加傾向にあり、こどもの生命が奪われる重大な事件も後を絶たないなど、深刻な状況が続いています。

児童虐待は社会全体でかかわり、解決していくべき問題です。

問合先　こども家庭センター（3階②番窓口）☎ 0224-53-2251

児童虐待とは？

- **身体的虐待**　殴る、蹴（け）る、叩（たた）く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺（おぼ）れさせる など
- **性的虐待**　こどもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
- **ネグレクト**　病院に連れて行かない、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する など
- **心理的虐待**　「生まれてこなければよかった」など言葉の暴力、きょうだい間での差別的扱い、こどもの目の前で家族に対して暴力をふるう（面前 DV）など

こどもや保護者にこんな行動やサインがみられませんでしたか？

こどものサイン

- 衣服や身体がいつも汚れている
- 急にやせた
- 表情が乏しい
- 夜遅くまでひとりで遊んでいる
- 親がいなくなると急に表情が晴れやかになる　など

保護者のサイン

- 家の中や外が散らかっていて、不衛生
- 近所との交流がなく孤立している
- こどもの健康や安全を考えない
- こどもを置いて外出している
- 人前でこどもを厳しく叱る・叩く　など

当てはまることがあったら…

「かも」でもいいんです。
気になったらまずはお電話を。

通話無料　**匿名可能**　**秘密厳守**

児童相談所虐待対応ダイヤル　イチ ハヤ ク **189**

※お近くの児童相談所につながります。

親子のための LINE相談

子育てや親子関係について悩んだときに、こども（18 歳未満）とその保護者のかたなどが相談できます。

アクセス方法などは、右記二次元コードから

出典：政府広報オンライン「児童虐待かも？と思ったら「189」（いちはやく）こどもたちの未来を守るために」